

東京大学伊藤国際学術研究センター会議
ノーベル平和賞受賞

デニ・ムクウェゲ医師来日講演会
「平和・正義の実現と女性の人権」



2019年10月4日（金）

12:30~15:00（11:30受付開始）

会場：東京大学 本郷キャンパス 伊藤謝恩ホール

使用言語：日本語、英語、フランス語（同時通訳付）

◆開催趣旨

紛争や自然災害がもたらす社会の不安定化が地域にくらす住民におよぼす影響を理解するため、コンゴ民主共和国（以下、コンゴ）で性暴力被害者の救済に尽力してきた婦人科医デニ・ムクウェゲ医師を招いての講演会を開催する。ムクウェゲ医師からコンゴ東部における紛争下の性暴力の実態を聞くと同時に、紛争研究に取り組む研究機関や紛争解決に尽力する援助機関などの関係者をパネリストとして招くことで、紛争下の性暴力が発生する構造的要因を理解し、社会的弱者の人権が擁護される条件としての平和と正義の実現方法を議論する。



◆基調講演

デニ・ムクウェゲ医師 Dr. Denis Mukwege

1999年に、コンゴ東部のブカヴにパンジ病院を設立し、5万人以上の性暴力被害者の治療に尽力してきた婦人科医。コンゴ東部における紛争と性暴力の関係を世界各地で訴え、ナディア・ムラド氏とともに2018年ノーベル平和賞を受賞した。



◆開会あいさつ

五神真
東京大学 総長



◆主旨説明

藤原帰一
東京大学 未来ビジョン研究センター長



◆コメント

隈元美穂子
国連訓練調査研究所(UNITAR)
持続可能な繁栄局長



◆コメント

華井和代
東京大学 未来ビジョン研究センター 講師
コンゴの性暴力と紛争を考える会 副代表

◆主催：東京大学 未来ビジョン研究センターSDGs研究部門

科研基盤A「気候変動と水資源をめぐる国際政治のネクサス－安全保障とSDGsの視角から」

◆共催：コンゴの性暴力と紛争を考える会（ASVCC）

科研基盤B「紛争下の資源採掘と人権侵害－コンゴの紛争鉱物取引規制がもたらすメカニズム変化」

東京大学 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム（GSDM）

◆協力：三菱財団、東京大学未来社会協創推進本部（FSI）

【問い合わせ先】

東京大学未来ビジョン研究センター
ムクウェゲ講演会担当
TEL：03-5841-1708
E-mail：sdgs@ifi.u-tokyo.ac.jp